

議員報酬について



細川 幸男 議員

【質問】 職員の諸手当や三役の給料を引き下げののに対し、議員の報酬は現状維持なのか。一緒に扱うべきと考えるが。

【市長】 今後、他市の状況を勘案し、遠野市特別職報酬等審議会の意見を参考とし、議員各位のご意見を拝聴しながら検討する。

【質問】 他市は他市として、遠野市は市民所得と比較勘案するべきであり、遠野市議会は長い間、時間制限等々と政策議論を深めることなく時間がくれば終わりとする議会運営を続けた分だけしかたがないのです。もしも、私が議長だったら率先して議員報酬は下げたでしよう。早急に議員報酬は引き下げすべきと思うが市長の考えは。

【市長】 議員各位の理解と協力をお願いしたい。

【質問】 基幹産業の繁栄なくして市の発展は無いと思えますが、行政は何を支援すれば納税してもらえるか尋ねる。

【市長】 農業を中心としながらも多様な産業の発展、収入の確保の仕組みづくりに取り組み、農業を糧として市全体の所得向上を推進する。

地域医療の充実について



萩野 茂男 議員

【質問】 地域医療の充実について、市当局の基本構想では、安心できる医療体制を図りますとあり、このような文面は、過去20年前同様の政策では医師確保は難しい。特に産婦人科医師については昔よく活躍された助産師とも併用した対応策を検討すべきだ。遠野市の心のこもった恩情に触れてみたという魅力ある環境地域づくりこそ先決である。

【市長】 総合的な医師確保対策のため4月から専任の職員を配置し地域環境づくりも含め現在具体的な対策を検討中である。

【質問】 子育て支援について、働くお母さん方が安心して子育てできるように勤務先の職場に保育施設を設置するのも一つの方策だ。その上行政としても支援策を検討すべきではないか。

【市長】 低年齢児の受け入れ、延長保育、幼保一元化等の充実等115事業に取り組んでいる。また、プロジェクトチームを設置し取り組みを強化し市民の要望に応えたい。

遠野型ツーリズム調査特別委員会報告



会津坂下町のツーリズムの取り組みを研修

遠野型ツーリズム調査特別委員会は、都市と農村の交流人口の拡大を図り、定住へと結びつける視点に立ち、市内でツーリズムの推進に努力している民宿、民泊の方々との意見交換を行い、更には、県外視察研修として5月25日から26日まで福島県会津坂下町、宮城県旧鳴子町(現大崎市)において、農家民泊や農家レストランで体験交流などを行いながら調査を実施した。

調査活動の中から、地域素材の精査、ワーキングホリデーの推進、馬と牛の活用、ツーリズムマップの作成、組織・仕組みづくりの5点について課題を提起し、これらを精査していくことにより、遠野型ツーリズムの更なる発展が可能になるものとして当委員会の報告とした。

議会運営委員会行政視察報告



男鹿市役所で議会運営について説明を受ける

議会運営委員会では、8月2日秋田県男鹿市の議会運営について視察した。男鹿市は、平成17年3月隣接する若美町と合併し、議員在任特例期間中は37人の議員数だった。

議会運営委員会の委員選出方法、執行部の出席、会期中の追加議案の取り扱い、一般質問の受付期間、請願の取り扱いの方法について説明を受けた。委員からは、議員全員協議会の開催、各種委員の選出方法、会派結成に向けての動向について質疑した。特に一般質問の通告で、当市は告示後に受け付けているが、男鹿市では常時質問通告を受け付け、発言の順序は、受付時点で抽選する方法を採用していることから、その利点等について質疑を交わし、今後の議会運営の参考とすることとした。